

ISO 15143-3 (AEMP 2.0) API

テレマティクスデータをアプリケーションにインポートして、 保有機械の管理を向上

有料のテレマティクスサブスクリプションをご利用の場合、Caterpillar の ISO 15143-3 (AEMP 2.0) アプリケーションプログラミングインターフェイス (API) を使用すれば、Product Link™ に接続されたどの資産からでも機械データにアクセスできます。

主な利点

データへのアクセス

- 1 回限りの利用料の支払いで、API データを出力できます (1 日の最大呼出し回数は 1 万回)
- システムのデータ保存期間は無制限です

時間の節約

- API は ISO/AEMP に適合しており、複数のデータソースをアプリケーションに統合できます #
- 単一のテレマティクスダッシュボードを作成することで、機種が混在した保有機械を監視し、知見を獲得できます
- データフィードについてご不明な点がある場合は、24 時間年中無休の Cat® デジタルサポートにお問い合わせください

Caterpillar は、お客様およびサードパーティの技術チームとの協力に取り組んでいます。技術サポートの責任に関する詳細については、www.cat.com/api-us-en をご覧ください。

コストの管理

- 保有機械について、情報に基づいたビジネス上の意思決定が行えます
- 機械の生産性と稼働率を監視および改善できます
- データを分析し、燃料およびメンテナンスコストの低減に向けて対処できます

ISO 15143-3 データタイプ	CATERPILLAR	
	スナップショット*	時系列**
ヘッダ情報 (機械ヘッダ)	○	
最新の位置情報 (1 つのデータポイントのみ)	○	
運転時間	○	
累積燃料使用量	○	
直近 24 時間の燃料使用量	○	
累積アイドル運転時間	○	
燃料残量比	○	
尿素水残量比	○	
エンジンの状態	○	
累積積込みカウント	○	
積載質量累計	○	
故障診断コード		○

スナップショット* は、最新の報告値であり、一時点の個々の機械 (または保有機械全体) のビューを示します。時系列** は、個々の機械に関する特定の期間 (最大 2 週間) 内のすべての既知の値を示します。

ISO 15143-3 (AEMP 2.0) API

API の機能

- データは機械によって生成されます
- データは Product Link に接続された資産から Caterpillar データベースに送られ、保存されます
- ISO 15143-3 は生データおよび処理済みの情報の抽出と、データベースへの転送を容易にします
- データはサーバーに無期限に保存され、トレンド分析、ビジネスインテリジェンス、機械の履歴など、必要な目的に使用されます
- 生データの整理および分析が可能で、機械の状態、燃料使用量、運転時間、アイドル時間、位置などに関する有益な情報が提供されます
- これらの重要な知見により、情報に基づいたビジネス上の意思決定を行うことができ、燃料消費量の低減、メンテナンスコストの削減、機械の性能向上、オペレータの生産性向上につながります



ISO 15143-3 (AEMP 2.0) API の利用を開始するには

- 詳細については、WWW.CAT.COM をご覧ください
- 最寄りの Cat ディーラーにお問い合わせのうえ、Caterpillar の API に関する情報をご請求ください。